

1-2	<p style="text-align: center;">間違った情報を否定する (名詞-否定文)</p> <p style="text-align: center;">(私は日本人じゃありません。)</p>
基本文型	<p>N₁はN₂じゃありません／ではありません</p> <p>N₁=私、彼、彼女、こちら、あの方、その人・・・</p> <p>N₂=名前、職業、身分、国籍</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <p>1. 「じゃ(では)ありません」は、学習者にとっては長くて言いにくい場合もある。うまく言えない場合は、後ろから区切ってリピートさせるとよい。</p> <p style="text-align: center;">例) ①「ありません」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">②「じゃありません」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">③「日本人じゃありません」</p> <p>2. 日常会話では「じゃないです」を使う日本人も多いので、学習者によっては文法的な説明はせず、形だけ提示してもよい。(文法的に正しいかどうかは別として)</p> <hr/> <p>【教えるときのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「じゃありません」と「ではありません」の違い。「ではありません」の方が丁寧な場面で使われることが多い。フォーマルなスピーチや書き言葉の場合など。 ・ 資料「1-1」を基本に名前、職業などいろいろな情報を否定する練習をする。
例文	<p><例 文></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私は本田じゃありません。 (名前) 2. 私は会社員じゃありません。 (職業) 3. 佐藤さんは先生じゃありません。 (職業) 4. 私は学生じゃありません。 (身分) 5. 私は日本人じゃありません。 (国籍) 6. 周さんは中国人じゃありません。 (国籍)
場面	